

【脳卒中再生医療に関するメリット（効果）及びデメリット（危険性）について】

脳卒中後遺症の治療としては、リハビリが第一の治療方法であると考えます。この脳卒中再生医療は、この治療を行うだけで効果を発するものであるとは考えておらず、必ずリハビリが必要であるという事です。

よって、リハビリが不可能な患者様にとって効果が認められるとは考えにくいのです。

しかし、リハビリを継続して行える患者様にとっては、この治療（脳卒中再生医療）を行うことによって症状改善をより期待できるというメリットがあります。

またデメリット（危険性）に関して

骨髄採取時： ①局所麻酔によるショック症状
 ②感染症
 ③皮下出血及び皮下血腫
 ④穿刺部の不快感

骨髄幹細胞注入時： ①肺血栓症
 ②アレルギーによるショック症状
 ③感染症
 ④点滴刺入部の発赤
 ⑤熱感

等の可能性を認めます。

以上のことをよく考慮された上で、本治療を受けるようにしてください。